

皆さんこんにちは【T】です☆

職場や外出先でマスクを着用することは、すでに新しい生活様式として定着してきています。そのような中、7月16日に放送されたNHK「おはよう日本」のとあるコーナーが目にとまりました。

画面には学校に行く前の低学年らしき男の子が映っており、自宅玄関でお母さんにマスクの着用を促されています。しかし、その男の子は「嫌だ!」「マスクは絶対しない!」と頑なにマスクの着用を拒否していました。対応していたお母さんも困り顔でした。



想像してみてください。今、マスクを着用することが新しい生活様式として定着してきており、ウイルス感染予防と併せてマナーという要素も含まれてきているなかで「マスクをつけたくない!」「嫌だ!」という子どもがいたら、皆さんどう感じますか。

「ルールなのだからちゃんとマスクをつけなさい!」「この時間くらい我慢できないの?」もしかしたら、このような感情を抱くかもしれません。子どもであればまだしも、大人ならなおのことルールやマナーを守れない人と冷たい視線を向けることもあるかもしれません。

もし、マスクをしないのではなく、できない背景や理由があるとしたらどうでしょう。

そのコーナーで取り上げられていた内容が「感覚過敏」です。「感覚過敏」とは、視覚・聴覚・味覚・嗅覚・触覚などの諸感覚が敏感になって、日常生活に困難を抱えている状態のことです。ニュースで流れた映像の男の子も、感覚過敏でマスクがつけられないため、頑なにマスクの着用を拒否していたのです。

感覚過敏についてはニュースの中で、情報サイトも紹介されていました。

こちらからどうぞ → 【KABIN LAB 感覚過敏研究所】<https://kabin.life/>

一般社会のルールやマナーなど、決まり事に沿っていない場合、本人の努力不足や我慢不足として捉えられてしまうことが多くある中で「何か理由があるのでは」「どうしたんだろう」と、その状況に寄り添い、多様な人達が生活をしていることを互いに認め合いたいものです。

☆メルマガへのご感想、アドレス変更・配信停止はこちらへ(´_`)/

kosodatem@pref.iwate.jp

★=====★

【発行】岩手県立生涯学習推進センター

【HP】<http://www2.pref.iwate.jp/~hp1595/>

【Facebook】<https://www.facebook.com/manabinetiwate/>

【Twitter】<https://twitter.com/manabinetiwate>

★=====★